

授業が受けられるようになりました。今後も、帰還が進む地域での校舎の建設等を通じ、教育環境の改善を進めていきます。



給水支援

[活動概要] 破壊行為や長期間にわたる放置によって使用できなくなっている井戸10基を補修し、近隣に修理可能な井戸がない村に新規の井戸1基を掘削しました。また、住民自身による井戸の維持管理が定着するよう、井戸管理委員会を対象とした技術研修、運営管理や修理の経験を共有するワークショップを継続しました。

[成果] 安全な水へのアクセスが改善し、紛争の影響を受ける人々の生活再建に貢献しています。また、井戸管理委員会のメンバーが技術研修、運営管理のワークショップに参加し、修理技術の向上や人々の関係構築につながりました。研修に参加した住民からは、実際に井戸の修理が行われたことなどが報告されており、住民自身の手による井戸の維持管理が定着しつつあります。



新しい教室と机・椅子で授業を受ける児童



人々が帰還した村に新しく設置した井戸



井戸補修技術研修の実地訓練の様子。右側の女性が講師

活動地からの声

ザハラさん
10代 女性
カドグリ在住

現地の行政関係者や住民との会議に参加していたザハラさんは、「国民登録がなくて困っていた学生や、父親に認知されなかった子どもが、JVCのプロジェクトを通じて登録することができたと聞きました。自分も出生登録の大切さを広めていきたい」と話していました。JVCは、登録により子どもたちが教育の機会を得ることで将来的に仕事に就けるようになり、兵士にリクルートされるなどして紛争に巻き込まれないように、そして多様な将来を描けるように、活動を行ってきました。今後は、現地の人々のイニシアチブによって出生登録が定着するよう、後押ししていきます。



JVCの活動を通じて取得した出生登録をみせてくれる子どもたち

